



NICDがおくる

刑事法ローヤー サマープログラム 2016

東京

5月17日(火)

京都

5月23日(月)

全日日時: 10時~12時 / 13時~15時

すべての会場の講義は講義時間・内容ともに同じです。

【講師】

代表弁護士 中村 勉

元東京地検特捜部検事

中央大学法学部卒業

Columbia Law School 卒業 (Fulbright 留学生)

LL.M.(法学修士号) 取得



開講案内

この10年ほどの間で、刑事手続をめぐる法的環境は、戦後かつてなかったほど大きく変わりました。裁判員制度の導入や被害者参加制度の充実、取調べの録画録音制度の新設、そして、今、司法取引等の新たな捜査手法の導入も検討されています。こうした中で、かつて刑事裁判に携わる者の多くがそうであったような、勉強をしなくても経験だけで刑事法ローヤーが務まるといった時代は過ぎ去ったと言っていいでしょう。

検事と刑事弁護士双方の経験を有する講師が、刑事事件プロセスの中で、検事そして弁護士が何を考えどう行動していくかを解説するもので、両当事者の思考回路・行動プロセスを学ぶことによって刑事法実務の真髄に近づくことを目的とします。

主催 弁護士法人 中村国際刑事法律事務所 (NICD)

講師 代表弁護士 中村 勉 (元東京地検特捜部検事)

対象者 学部在生、ロースクール在生・修了生、予備試験合格者

日程 ① 東京会場(剛堂会館 東京都千代田区紀尾井町3-27)
平成28年5月17日(火)

② 京都会場(京都私学会館 京都市下京区室町通高辻上ル山王町 561)
平成28年5月23日(月)

* すべての会場の講義は講義時間・内容ともに同じです。

参加費 無料

プログラム内容

【捜査活動】

- 事件相談と事件受任
- 自首と弁護活動
- 初動捜査の実際
- 身柄事件の検事活動 (事件配点と事件決裁)
- 身柄事件の弁護活動 (勾留回避活動)
- 勾留に対する準抗告、勾留取消、勾留理由開示
- 被害者心情と示談活動
- 事件報道、勤務先対応と弁護活動
- 否認事件の捜査及び弁護
- 不起訴意見書の作成
- 捜査及び捜査弁護の総括 (事件ハンドリングを迅速的確に)

【公判活動】

- 保釈活動 (第1回公判前の保釈と第1回公判後の保釈)
- 公判の初動準備 (起訴状検討、証拠開示と記録検討)
- 弁護戦略の立案 (検察との対立軸)
- 公判準備 (弁号証収集と証人尋問対策)
- 証人尋問、被告人質問の実際
- 情状弁護 (事件の本質を掴む)
- 論告・弁論
- 公判弁護の総括 (裁判官心証をコントロール)

参加申込み案内

メールに下記①-⑤を記載の上、担当小島までご送信ください。

申込み締切り(東京/京都):
平成28年5月10日(火)

※応募者多数の場合、選考させていただくことがあります。

- ① 住所・氏名(ふりがな)・年齢
- ② 連絡先携帯電話番号
- ③ 出身大学(学部)、ロースクール
- ④ 参加会場
- ⑤ 参加動機

プログラム担当: 小島千早



c-kojima@nicd.jp



弁護士法人
中村国際刑事法律事務所
NAKAMURA INTERNATIONAL CRIMINAL DEFENSE LLP

[東京事務所]

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-29 紀尾井ロイヤルハイツ 402
TEL:03-6272-6100 FAX:03-6272-6101

[大阪事務所]

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2-2-12 生駒ビルナング3-A
TEL:06-7638-1007 FAX:06-7638-1008